



初は初めての事ばかりで、右

ボランティアの皆さんも最
3月末までに4回開催するこ
とが出来ました。

2020年12月に日ノ出町
商店街の中ほどにある食堂
「葉じゃ」を使って、子ども
食堂「はらぺこあおむし」が
始まりました。コロナ禍で人
と人がつながりにくくなつて
いる中、孤立するお母さんや
子どもたち、地域の人たちの
居場所づくりをしようと立ち
上がった有志の方たちで運営
されています。松本市の子ど
もの居場所づくり推進事業交
付金と、NPOホットライン
信州（信州子ども食堂ネット
ワーク）に協賛をいただいて、

第三地区に子ども食堂がOPEN



往左往しながら手探りで始め
たのですが、初回から100
名を超える来場者があり驚い
たそうです。コロナ禍と言っ
ことで感染防止に気を使い、
2回目からはテイクアウトの
みにしています。回を重ね
るごとに来場者が増え、喜ぶ
笑顔や「美味しかった」の声
が主催する方たちの励みにも
なっているそうです。

事務局長の増田龍美さんは
「コロナ禍の中でビクビクし
ながらも、とにかくやって
みたいとわからないと言う気
持ちで始まりました。思いの
ほか沢山の方からの反響があ
り、特に一月二月は緊急事態
宣言ということで、とても気
を使いました。でも、毎回楽
しみにしてくださる方も増え
てきて、また、こういう機会
を求めている方たちの顔も見
えて来しました。こういう時代
だからこそ、温かな人とのつ
ながりと、手づくりの温かな

食事の大切さを私たち自身が
身に染みて感じています。子
ども食堂と言うと貧困家庭の
子どもさん対象と思われる
る方もいるかもしれませんが、
が、決してそんなことはなく、
大人も子どもも誰でもいらし
てください。」とおっしゃっ
ていました。

報道などで知った方から寄
付金や差し入れなども届くな
ど、色々なつながりも増えて
います。これから地域をつな
ぐ一つの場となることが期待
されます。



活動にご協力いただけるボラン
ティアを募集しています。また
寄付も随時受け付けております。
連絡先：増田龍美さん
(090-1724617697)

松本市第三分団消防団員募集

松本市第三分団では、一緒に活動をする
意欲のある人を募集しています。
あなたのまを、あなたの力で
一緒に守ってみませんか。

消防団とは？

普段は自分の仕事を持ち
ながら、災害時にはいち早
く現場に駆けつけ、その対
応にあたります。平常時に
は地域の防災リーダーとし
て地域に密着し、住民の安
全安心のため防災に努めて
います。

入団資格は？

松本市在住、または松本
市に勤めている十八歳以上
であれば性別は問いませ
ん。学生の方も入団できま
す。

第三分団について

現在の第三分団は定員が
30名のところ、22名で活
動をしています。近年、団
員不足に悩んでいます。火
災時に人員がすぐに集まら
ず、出動車両も2台ありま
すが、1台しか出動できな
い時もあります。いざとい
う時のため、自分の住む地
域を守るため、是非力を貸
してください。



清水中消防訓練



防災訓練



※入団してみたい方、話を聞
いてみたい方

◆松本市消防防災課

0263-33-1191

◆第三分団団長 黒田

090-1116-2581

までご連絡ください。

中学生になったら

4月から中学生になる3名に、これからの抱負をお聞きしました。

川又 士門 (東源池町会)

四月から僕は中学生になります。中学生になったら頑張りたいことは挨拶と勉強です。

小学校でも挨拶週間などで元気に挨拶できるようにになりましたが、中学校では先生や先輩方といった目上の方への挨拶をきちんとできるようにしたいです。

そして、勉強では算数から数学に替わって難しくなると思っています。英語も筆記やリスニングがさらに高度になると思います。テスト勉強をしっかりして頑張りたいと思います。

また、違う小学校の友達との出会いや、部活の仲間ができたりと、新しいことがたくさんあることも楽しみにしています。

小林 柚佳 (西埋橋)

私は中学生になって頑張りたいことが二つあります。

一つ目は勉強です。中学生になったら勉強が難しくなり大変になります。だから一生懸命勉強をして良い成績を残

したいです。

二つ目は部活です。小学校ではなかった部活、体を動かして、先輩と仲良くなりたいです。

中学生になったら大変なことがあるかもしれないけど頑張りたいです。

高橋 そら (四ツ谷東町会)

私が中学生になって頑張りたいことは、自分の意見を持ち、それを人前で発表できるようにすることです。

私は今、自分の意見を持つことはできているけど、それを人前で発表する機会が少なかったと思います。中学生になったら人前で発表する機会を増やしていきたいです。

また、みんなの話をちゃんと聞くことができる聞き上手にもなりたいです。みんなの意見と自分の意見を比べることも大切だと思うからです。そうすることで自分のことを見つめ直し自信をもって勉強や学校生活を楽しく送れると思います。



楽しい中学校生活を
送ってね

公民館活動紹介

第三地区公民館には地域住民で構成された委員会がある。

住民で構成された委員会があり、講座の企画や公民館報の編集等を行っています。毎月発行される「公民館だより」でお知らせしますので、皆さんぜひご参加ください。

◆生活・文化委員会

地域住民の教養の向上などを目的とした講座を企画、実施しています。



令和元年度開催
身近で間違えやすい食草の見分け方講座

公民館研究集会の様子をyoutubeで視聴できます。

2月21日に開催した「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会」の基調講演・鼎談の様子がyoutubeで配信されています。

鼎談では、第三地区まちづくり協議会副会長の降旗都子さんが第三地区のまちづくりについてお話しています。

是非ご覧ください。



松本市公式
チャンネル
QRコード



◆体育委員会

地域住民の健康づくりを目的とした運動講座を企画、実施しています。



令和2年度開催
駒ヶ根高原ウォーキング講座

◆館報編集委員会

隔月で発行される公民館報の取材、編集をしています。



湧き水

終息がいつになるか全くわからない新型コロナウイルス禍。我々の生活の全てに悪影響を与えている中のひとつに挨拶も。

新型コロナウイルスの影が見える前からも家庭内で、地域で挨拶が減り、心と心の距離が離れ寂しい世界になりつつあった。買い物ひとつ見ても自販機では一言も発せずに手にすることができ、スーパーやコンビニでも同様。多忙な家庭ではともすれば、朝に子どもへワンコイン渡せば飲食の用が足りてしまう。

会社勤めでは同じ企業に勤める者使用の駐輪場でも他課の社員とは挨拶を避ける風景が一般的。そこへ今回のコロナ禍。上の方からは「人と人との距離を保ち、必要以上の会話を持たない」「食事中は食べる時以外はマスクをし黙って食べる」「隣の席とは飛沫防止のため板で区切れ」：列挙すればいくつでも。

人と人とは飲んで食べて話し、相手を理解し仲良くなれるもの。歓送迎会を含め懇親の場は全て中止…。挨拶無視・会話なしの異状で寂しい日々いつまで続くのやら。

(上條 恒嗣)